

岐阜市を過ごしやすく優しい街に

市政報告

2020.
8月

令和2年第3回(6月)定例会が行われました。決定された事業内容の一部紹介と、REPORT3では、一般質問をした際の内容と回答についても紹介します。



REPORT

1

岐阜市“withコロナ”総合対策

新型コロナウイルス感染症との闘いは、ワクチンが開発されるまでの長期戦となります。岐阜市では、岐阜市「withコロナ」プロジェクトに取り組み、飲食店やサービス業の業者、市民、岐阜市が一体となり、社会経済活動の持続化と感染拡大防止対策を行っていきます。

テイクアウト応援サイト開設

岐阜商工会議所、柳津商工会と連携し、テイクアウトを実施している店舗や商品の情報発信サイト「ウチ店」を開設しました。



「withコロナ」ステッカー配布

感染症防止対策に取り組んでいる事業所に5万円の支援金とともに「withコロナ」ステッカーを配布し、感染拡大防止の啓発に活用していただきます。



◀「withコロナ」ステッカー

岐阜市民対象「地元泊まるう」キャンペーン

岐阜市民を対象に、「ぎふ・長良川鵜飼」及び「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」観覧付き宿泊プランを割引価格で利用できるキャンペーンです。観光誘客を段階的に進めながら、市民にとっては岐阜市の魅力の再発見につながります。



※受付は令和2年8月31日まで、9月30日チェックアウト分まで。先着順・なくなり次第終了。

テレワーク推奨

日中に客室を利用できる、テレワークプランを提供するホテル等に料金の一部を助成。

私立保育園等への感染拡大防止策助成

手洗い場蛇口の自動水栓化、お昼寝用ベッドの導入など、衛生環境の整備を支援。

妊産婦の感染予防支援

啓発パンフレットとともに衛生用品(マスク、アルコールハンドジェル)を配布。

啓発パンフレット▶



REPORT

2

小中学校の全生徒にタブレット端末を配布

今年度、岐阜市立の小学校、中学校、岐阜特別支援学校に1人1台、タブレット端末が配布(岐阜市からの貸与)されます。

中学校22校の3年生と教職員にはすでに配布しており、そのほかの生徒と教職員には9月末までの配布が予定されています。合計、32,490台を配布することになります。



▲配布されるタブレット端末

タブレット端末を活用することで、自分の考えを広げ深める学習につながる他、個々の理解や関心の程度に応じた学びの実現、オンライン環境の構築による臨時休校時でも止まらない学びを実現させることができます。

タブレット端末活用の実例 ～精華中学校～

オンライン「帰りの会」

指定された時刻にリモートで生徒が参加。先生からの問いかけに挙手反応し、みんながオンラインでつながっていることを確認。スムーズに会を進行することができました。



修学旅行の平和事前学習に活用

テーマに沿った内容を検索。調べ学習に役立てました。



▲授業の様子

生徒会でアンケート作成

生徒自ら考えたペーパーレスのアンケートを作成し、秋以降に実施する予定。自発的な取り組みを先生がサポートします。



REPORT

3

「バイローカル運動」の推進 「ミズベリング」で新しい水辺の活用

「バイローカル運動」



浅野まさき

地域内消費を促すために「岐阜のものを積極的に買おう!」と発信すべきではないでしょうか。電子地域通貨の検討も必要かと考えています。

地元の人が地元で消費することで、市内事業者を応援する「バイローカル運動」を、まずは市職員が率先して取り組みます。地域通貨については、十六銀行と共同研究を進めていきます。



▲「バイローカル運動」ポスター



企画部

「ミズベリング」



浅野まさき

国土交通省が「ミズベリング※」プロジェクトを推進していますが、長良川で市民協働の川のまちづくりを行ってはいかがでしょうか。 ※ミズベリング…水辺とリノベーションの造語

「長良川まんぶくクルーズ」や「長良川鵜飼棧敷」など、清流長良川における水辺の賑わい創出に向けた取り組みが行われています。魅力的な水辺空間の創出を図るため、この夏、地域住民、観光事業者、経済団体の関係者等からなる協議会を設立します。10年程度の中長期的な事業の検討を行い、今年度末には事業計画を策定する予定です。



ぎふ魅力づくり推進部



そのほか、下記の質問をしました

- ・より利便性の高いサービスの提供や緊急時の対策のための、ICT(インターネットやWEB)の活用について。
- ・岐阜市立の大学及び短期大学の学生に対する支援について。